

リスク評価（一次）評価 における安息香酸ベンジルの評価結果について
（生態影響）

< 評価結果及び今後の対応について >

安息香酸ベンジルについて、生態影響に係る有害性評価として、既存の有害性データから水生生物及び底生生物に対する予測無影響濃度(PNEC)を導出し、暴露評価として、化審法の届出情報に基づく予測環境中濃度(PEC)の計算を行った。排出源ごとの暴露シナリオ及び水系の非点源シナリオによるリスク推計結果では、PECがPNECを超えた地点はなかった一方、様々な排出源の影響を含めた暴露シナリオによる評価ではPECがPNECを超える地点が見られた。また、製造・輸入数量の経年変化は、平成24年度以降ほぼ横ばいである。

このことから、現在推計される暴露濃度では、安息香酸ベンジルによる環境の汚染により広範な地域での生活環境動植物の生息もしくは生育に係る被害を生ずるおそれがないとはいえないと考えられる。

他方、PRTR対象物質ではないためPRTR情報が得られていないこと、環境排出量の推計に不確実性があること、また、環境モニタリングによる実測濃度が得られていないことから、評価の判断の根拠に足る暴露評価結果が得られていないと判断し、環境モニタリングによる実測データを収集することとする。

（以上）